

令和7年度 地域ケア会議実施状況

●地域ケア個別会議＝6回 ●自立支援型地域ケア会議＝4回

地域ケア会議におけるタイトル・検討内容・地域の課題の概要									
番号	種類	実施機関	日時	相談者 (事例提供)	参加者	タイトル (相談内容)	検討内容	検討結果	地域の課題
1	地域ケア 個別会議	地域包括 支援セン ター	R7.4.23	ふれあい介護 支援センター	【事例提供者】2名 【主任ケアマネ】1名 【地域福祉課】1名 【地域包括支援センター】管理者、保 健師、社会福祉士、主任ケアマネ 【民生委員】1名 【サービス事業所】2名	認知症があり、親族は 高齢のため身元引受に なる人がいないケース	本人の今後の生活が担保で きるよう、緊急時の連絡先 や身元引受人、金銭管理が できるようにしたい。	・親族が高齢のため市長申 し立てにより、成年後見の 申請をする。 ・本人と親族と従妹の3人 で、自宅に行き通帳等の金 銭管理をしていく。	・高齢で親族が いない場合、緊 急連絡先や身元 引受人。 ・成年後見制度 を利用するため のフローチャー トの作成
2	地域ケア 個別会議	地域包括 支援セン ター	R7.4.24	介護支援セン タージョイ くらしサポー ト家族家 ネ	【事例提供者】2名 【事例対象者】2名 【司法書士】1名 【サービス事業所】4名 【地域包括支援センター】主任ケアマ ネ	事例対象者親子の今後 の支援改善について	事例対象者2人の介護サー ビス及び生活支援・金銭観 理を今後どのようにする か。	事例対象者に関わる窓口の 一本化を提案。	・認知症親子の 統一した支援の 方法
3	地域ケア 個別会議	地域包括 支援セン ター	R7.10.3	ふれあい介護 支援センター	【事例提供者】1名 【地域包括支援センター】管理者、保 健師、社会福祉士、主任ケアマネ 【高齢福祉課】2名	認知症があり、親族は 高齢のため身元引受に なる人がいないケース (R7.4.23会議の6か月 後の評価と課題)	・身元保証会社の検討 ・施設入所希望および金銭 管理 ・後見人制度の申し立て	・身元保証会社は施設側が 紹介し契約、それにより金 銭管理が可能になった。 ・成年後見制度の利用につ いては、主治医の診断等や 本人も望んでいないことか ら、取り下げとなった。	

地域ケア会議におけるタイトル・検討内容・地域の課題の概要									
番号	種類	実施機関	日時	相談者 (事例提供)	参加者	タイトル (相談内容)	検討内容	検討結果	地域の課題等
4	地域ケア 個別会議	地域包括 支援セン ター	R7.10.3	地域包括支援 センター	【事例提供者】1名 【地域包括支援センター】管理者、保 健師、社会福祉士、主任ケアマネ 【高齢福祉課】2名	夫の介護をしている 妻、本人も支援が必要 になってきたがサービ スを拒否する方の支援 について (R7.3.10会議の6か月 後の評価と課題)	・地域との関係作り ・サービス事業所の受け入 れ拒否 ・夫の認知症に対しての妻 の受け止め方及び電話相談 の紹介	夫の施設入所により独居と なったことをきっかけに サービス利用の開始。 環境も変わり、個人の課題 に関しては終了した。	・行政手続きが 難しい方がい る。 ・特に要支援の 方の場合、ヘル パーの利用がで きない。
5	地域ケア 個別会議	南部地域 包括支援 センター	R7.7.25	介護支援セン タージョイ	【事例提供者】1名 【サービス事業所】3名 【民生委員】1名 【自治会】1名 【市民病院】1名 【地域包括支援センター】管理者 【南部地域包括支援センター】管理 者、保健師、社会福祉士 【主任ケアマネ】2名 【高齢福祉課】1名	認知症により地域との トラブルを抱える高齢 者とその介護者の今後 の生活について	・ごみ出しに関する手立て ・認知症に関する受診 ・介護者の相談支援	・ごみ出しに関するヘル パー支援を見直した。 ・認知症については、現在 は落ち着いているものの、 神経症状が激しくなった際 は受診することを勧奨し た。 ・介護関係者の連携を再確 認した。	
6	地域ケア 個別会議	南部地域 包括支援 センター	R8.1.15	介護支援セン タージョイ	【事例提供者】1名 【サービス事業所】3名 【民生委員】1名 【自治会】1名 【市民病院】1名 【地域包括支援センター】管理者 【南部地域包括支援センター】管理 者、看護師 【主任ケアマネ】2名 【高齢福祉課】1名	認知症により地域との トラブルを抱える高齢 者とその介護者の今後 の生活について (2回目)	1回目の会議の後、迷惑行為 が悪化した事例対象者へ の、新たな手立て	親族とケアマネ・サービス 事業所に加え、羽島市民病 院初期集中支援チームも支 援にあたる。 今後、自宅へ帰ることがで きない状況も想定して、GPS の利用も検討する。	

地域ケア会議におけるタイトル・検討内容・地域の課題の概要									
番号	種類	実施機関	日時	相談者 (事例提供)	参加者	タイトル (相談内容)	検討内容	検討結果	地域の課題等
7	自立 支援型	市	R7.12.1	地域包括支援 センター	【事例提供者】1名 【地域包括支援センター】管理者、主任ケアマネ、保健師、社会福祉士 【市民病院】理学療法士、作業療法士 【社会福祉協議会】生活支援コーディネーター 【高齢福祉課】1名	【対象者】 年齢：77歳 性別：女性 認定：要支援2 症状：発作性心房細動、変形性股関節症、高血圧	リハビリを目的として、仕事をしながらでもできる日常的な運動を知りたい。	本人の願望でもある車の運転を目標にリハビリに励むことを提案しつつ、つまり立ちや重心移動など、短い時間でできる運動を勧めた。	
8	自立 支援型	市	R8.1.22	地域包括支援 センター	【事例提供者】1名 【地域包括支援センター】管理者、主任ケアマネ、保健師、社会福祉士 【市民病院】理学療法士、作業療法士 【社会福祉協議会】生活支援コーディネーター 【高齢福祉課】3名	【対象者】 年齢：86歳 性別：女性 認定：要支援2 症状：両手変形性関節症、慢性心房細動、高血圧、糖尿病、腰椎圧迫骨折、腰椎椎間板ヘルニア	持病が多数あり日常生活全般に困難さがある。さらに独居であり、転倒等による急変の可能性もある。リハビリ、見守りをはじめとした多角的なアドバイスがほしい。	地域コミュニティの紹介や、効果的なトレーニング、ケアプランの見直しを提案した。	
9	自立 支援型	市	R8.3.12	地域包括支援 センター	【事例提供者】1名 【地域包括支援センター】管理者、主任ケアマネ、社会福祉士 【市民病院】理学療法士、作業療法士 【社会福祉協議会】生活支援コーディネーター 【高齢福祉課】1名	【対象者】 年齢：85歳 性別：女性 認定：要支援2 症状：非結核性抗酸菌症、ジフト胃壁腫瘍、逆流性食道炎、C型肝炎、緑内障・白内障	慢性的な呼吸苦を感じており、好きな畑仕事も難しくなっている。生活の中で小さな楽しみを見つめたい。	呼吸苦になりにくい体の動かし方、運動方法を紹介した。また、友愛訪問の利用を勧め、定期的なコミュニケーションによる不安感の軽減を図る。	
10	自立 支援型	市	R8.3.26	地域包括支援 センター	【事例提供者】2名 【地域包括支援センター】管理者、主任ケアマネ、保健師、社会福祉士2名 (事例提供者) 【高齢福祉課】1名	無理をすると熱がでるためどのように生活すればいいのか。 (R6年度会議における検討結果の評価と課題)	会議の検討結果を踏まえての対応、経過を報告し、検証する。	本人の意向等により実施がなされていないものもあるが、住宅改修により改善に至った例等、効果的なものも多い。また、ケアマネは有意義に感じている。	